

めざせ世界遺産登録

あなたも参加団体で
活動しませんか？

環境美化から世界遺産登録

湘南鎌倉ライオンズクラブ

2005年に設立目的を「環境美化」と「献眼」に特化し発足しました。「環境美化」は、25年以上続けている七里ヶ浜クリーンコミュニティとの海岸清掃と「源氏山公園」「葛原岡」近辺の美化が中心となっています。他の清掃団体と違うのは、海岸での「秩序維持」と「遊びのルール」の徹底をはかっていることです。

世界遺産に関わったのは、米軍の空爆から除外された鎌倉・京都・奈良に共通する日本の価値を再発見する時が来たのではないかと、ゴミの山をなくし、人類の遺産と言われる先人の遺したものを後世につないでいくのは、現代人の責務であると考え、協議会に参加しました。徐々にメンバーが世界遺産にめざめ、催し物に参加する人が増えています。

メンバーの高谷利彦さんは、「世界遺産は全人類のものですが、地域が密接に関わり、町全体が恩恵を受けることも考えるべき。遺産の私物化を考えると、『世界遺産管理団体』を作り、保護・管理して変形させないよう、資金も確保する必要がある」と話していました。



七里ヶ浜クリーンコミュニティにて

『世界遺産管理団体』を作り、保護・管理して変形させないよう、資金も確保する必要がある」と話していました。

若宮大路に松並木を再生！

鎌倉市政を考える市民の会



若宮大路に松を植樹

平成15年秋、鎌倉市の呼びかけで開催された「明日の鎌倉を創る市民百人会議」に参加した市民の有志が集り、市民による提言が行政計画に

反映され、その評価までを市民が行なうことを目指し、18年4月に「鎌倉市政を考える市民の会」が発足しました。

行政運営、まちづくり、市民生活の三部会の議論を経て、意見書の提出や提言を行い「駐車場建設に何らかの規制が必要」という提言は鎌倉市コインパーキングの設置等に関する指導要綱として実現しました。

また古都鎌倉の象徴ともいえるべき歴史的な道路であり、世界遺産の候補地にもなっている若宮大路に昔日の松並木を再現しようと、行政機関との協働で平成20年から松の植樹を始めました。一の鳥居から海岸部までの地域を市民の憩いの場として整備し、世界遺産のまちにふさわしい街路にしようという「若宮大路松並木再生プロジェクト」です。

会の世話人である松山淑郎さんは「これまでに植えた松は7本ですが、毎年少しずつの植樹を通して多くの市民の理解を深め、若宮大路全体の景観改善に尽力していきたい」と話していました。

古都鎌倉の世界遺産登録って

なに？

第15回 瑞泉寺が持つ鎌倉の武家文化の特徴とは？

瑞泉寺は、臨済宗円覚寺派に属する寺院で、嘉暦二年（一三二七）に、禅僧の夢窓疎石により開かれました。当時、夢窓は第十四代執権であった北条高時と親交があったようで、金沢文庫文書に残されている「崇顕金沢貞顕書状」には、元徳二年（一三三〇）のある日、円覚寺にいた夢窓は、高時が瑞泉寺に向かっているという話を聞き、大慌てで瑞泉寺に行ってお茶を振る舞った、ということが書かれています。

寺が創建された翌年の嘉暦三年（一三二八）に、夢窓は寺の背後にある錦屏山の山頂に徧界一覽亭を構えました。これより後、ここに名僧が集まって詩会を催したり、鎌倉公方が観花の会を催したりしました。一覽亭は、数度の廃絶と復興を繰り返した後、昭和十年（一九三五）に再建され、今に至っています（非公開）。

瑞泉寺において、鎌倉の武家文化の特徴を最も顕著に表わしているのは、本堂（仏殿）の背後にある池庭です。これは一覽亭とともに、夢窓による作庭と考えられ、昭和四十四〜四十五年（一九六九〜一九七〇）の発掘調査によって本来の姿が明らかにされました。山の中腹に露出した岩肌をくり抜いて壁面や池を造り出し、元々の地形と岩盤の美しさを活かした庭園となっています。初期禅宗庭園の典型として、後に夢窓が京都で造った天龍寺や西芳寺（寺）などの庭園にも大きな影響を与えました。



Watch! the 世界遺産

大船まつり

推進協議会では芸術館通りにブースを設置。マップ、バッジ、ステッカーを配布して世界遺産登録をアピール!



「鎌倉の心 長崎の祈り」写真展



さらに鎌倉地下ギャラリーにて。長崎の白井綾さんの写真30枚、鎌倉の候補資産23枚、特別出展の画家・村田佳代子さん作「長崎教会スケッチ」衝立に感嘆の声。



Event! the 世界遺産

鎌倉世界遺産登録推進協議会主催

シンポジウム「世界の中の鎌倉 ～世界遺産登録をめざして～」

日本を愛し、鎌倉に居を構えるリチャール・コラスさんと、各地の世界遺産に造詣の深い星野知子さんに、世界文化の中の日本と、鎌倉の文化遺産についてお話を伺います。

出演者 リチャール・コラスさん(シャネル日本法人社長)、星野知子さん(女優) **と き** 平成22年10月23日(土) 13～15時(開場12:30)
ところ 鶴岡八幡宮直会殿 **定員** 200名 **申込方法** 住所・氏名・電話番号・Eメールアドレスを明記し、はがき・FAX・Eメールで下記・推進協議会事務局「10月23日シンポジウム係」へ。定員になり次第締め切ります。
後援 鎌倉市観光協会、鎌倉三日会、古都鎌倉を愛する会、鎌倉ペンクラブ **●入場無料**

EDITOR'S NOTE

広報部会長 内海恒雄

「鎌倉の世界遺産登録をめざして」をテーマに行われた鎌倉まつりでは、パレードや講演会、寺社特別拝観めぐりなどに多数の方々のご参加をいただき、世界遺産登録への意識の高まりを感じることができました。

新会長には松尾崇市長が就任されました。世界遺産登録を間近に控えて、行政と市民が一体になり登録を推進するには今までにない力強い組織ができました。行動力のある若い市長とともに、私たちも一層の努力をしたいものです。

推進協議会の発足以来、会長を務められた養老孟司氏が勇退されました。養老会長はご多忙な中、推進協議会のため色々と尽力され、様々な行事にもご出席いただき、また、挨拶や講演などで話される内容が独特の発想から生まれる格調高い内容で、多くの人を魅了したのはご存じの方も多いことでしょう。そして平山郁夫先生のための特別顧問として引き続きご指導いただけるのはありがたいことです。

編集後記

編集委員／大竹正芳 菊池威雄 後藤辰郎 佐藤江里子 高木規矩郎 都筑健一 能登原秀実 福澤健次 横岩宏志
 デザイン／澤田ながえ

鎌倉世界遺産登録インフォメーション&放送スケジュール

インターネット

●鎌倉世界遺産登録推進協議会HP
<http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>

FMラジオ

●鎌倉FM(82.8MHz)……毎週日曜 12:00～12:30
 「湘南鎌倉いまむかし」番組後半「鎌倉世界遺産への道」

ケーブルテレビ

●JCN 鎌倉……毎週木曜 17:10～(当日再放送あり)
 7Days デイリー 「一問一答! 鎌倉検定の道」

鎌倉世界遺産登録推進協議会事務局

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10
 鎌倉市世界遺産登録推進担当
 Tel. 0467-61-3848
 Fax. 0467-23-1085
 E-mail: sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp